



株式会社 三洋産業様 地鎮祭

セントラルキッチン新築工事

すがすがしい秋晴れのもと 地鎮祭を執り行いました

三光建設工業では様々な建物を建設していますが、建設前には、土地の神を鎮め、建物が完成するまでの安全を祈願する儀式『地鎮祭』を行っております。10月4日には、株式会社三洋産業様のセントラルキッチン新築工事の地鎮祭が執り行われました。当日は別府の火売神社より神主様をお招きして開式。地鎮の儀では、青竹や笹の挿しである砂山をその土地に見立て「刈り初め」で、三洋産業様の中塚茂次社長に鎌をお持ちいただき、笹を刈っていただきました。続く「杭打ちの儀」では、当社の北村社長が木槌を持ち、荒金工事主任が持った杭をめぐって「エイ」「オー」と声をかけあい木槌を打ち下ろし、高く盛り上げた砂山に杭を打ち込みました。

地鎮祭後は北村社長から以下のようにご挨拶させていただきました。

「神事を滞りなく終えられました、おめでとうございませす。またこのような晴天の中

で、工事が始められて、幸先がいいなと感じております。工事中は安全第一はもとより、建物の用途、目的をしつかり理解して、品質管理を万全にし施工をしていきたいと考えております。10月にスタートし、来年3月完成といささか、短期的には短めですが、m環境デザイン設計室さんにご協力をいただきましたながら、社員一同で頑張っております。最後になりますが、ご健勝を祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございました」

来年春の完成を目指して、より良い建物作りに社員一同、尽力いたします。また建設の様子はこちらの新聞にてご報告させていただきます。



三光建設工業の SDGs 宣言

三光建設工業は、国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献すべく SDGs 宣言を行いました。2021年9月末の全体会議で社内共有し SDGs バッチを配布。2021年10月1日にホームページ上で公開しました。社員一同で尽力いたします。

三光建設工業は経営理念に沿って SDGs の取り組みを明確にいたしました。経営理念の3つの項目に当てはめて、すでに取り組んでいること、これから取り組むべきことを下記に表記しております。

経営理念

- ① 私達は、建設業を通じて地域社会になくてはならない会社を目指します。
- ② 私達は、自己研鑽を行い、お客様に「喜んで頂けると建物やサービス」を提供します。
- ③ 我が社は、社員と協力会社、その家族の笑顔を決やさない、安心・安全な会社を追求します。

SDGs の取り組み

① 免震構造の導入

大分県下の建設会社として、初めて、2006年度に免震構造を導入しました。大分県初「免震構造」分譲マンションの建設と、高い技術力を結集した持続可能なまちづくり、永続的なライフプランニングを保证しています。



② ユニバーサルデザイン社会を目指す施設を建設

- ・「重度障がい者への自立支援」、「ユニバーサルデザイン社会の実現」、「バリアフリー観光・旅行の普及」を運営理念とする NPO 法人 自立支援センターおおい様の施設を建設しています。
- ・ユニバーサルデザイン・バリアフリーという、障がい者・お年寄り・妊婦・外国人、様々な人が生活しやすい社会づくりに貢献します。



③ 社員のワークライフバランス実現への取り組み

- ・大分県 おおいの子供子育て応援企業 認定
- ・大分県 健康経営企業 認定
- ・厚生労働省 両立支援のひろば・女性活躍推進 HP 登録
- ・厚生労働省 ユースエールマーク・えるぼし認定に向けて取組中



北村社長が同友会で社員共育を発表

2021年9月22日、経営者団体である大分県中小企業家同友会の大分支部例会にて当社の北村社長が講演を行いました。

講演テーマは『会社が強く長く発展するために社員共育に必要なこと』。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、当日は Zoom によるオンラインでの開催。大分県内の様々な業種・業態の経営者の方々が60名ほど参加されて、講演後には質疑応答が行われ『社員共育』に関する交流が深められていました。



誕生月が
11月の
スタッフ



榎木 幹仁

健康管理に気を付けて
無事故無災害を目標に頑張ります

編集
後記

朝夕は寒気がひとしお身にしみるようになりましました。三光建設工業では10月より秋冬用のジャンパーに衣替え。冬の寒さから身を守って、社員一同、元気に業務に取り組んで参ります。



HP & SNS で最新情報発信中！

三光建設工業のホームページやフェイスブックページで、最新情報を発信しています。ぜひこちらをご覧ください。



HP



FB



最新情報
発信中！